神戸町立下宮小学校で防災講座を行いました

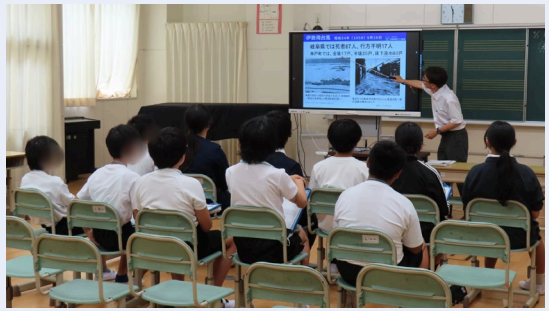
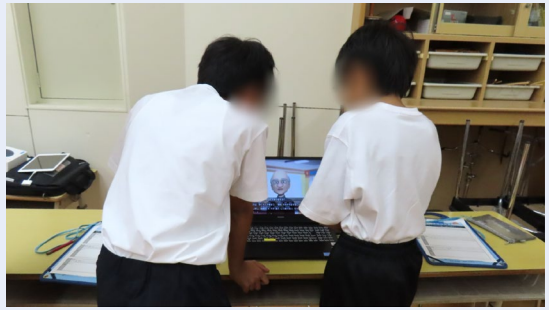
令和７年７月１日（火）、神戸町立下宮小学校で５年生１８名、６年生１１名とその保護者に防災講座を行いました。学校の近くには、揖斐川や平野井川が流れています。下宮小学校での講座の実施は４年目となります。

５年生は、神戸町でも被害があった伊勢湾台風や９.１２豪雨災害、平成１４年７月の台風６号など過去に発生した水害を学習しました。浸水疑似体験映像の視聴では、「びっくりした」「怖すぎる」との声が上がり、多くの児童に水害の恐ろしさが伝わった様でした。

昨年度防災講座を受講した６年生は、ＡＩ語り部「伊勢湾太郎さん」との対話を通して伊勢湾台風を学習しました。「学校はどのくらい休みになりましたか？」、「避難所で感染症などはありましたか？」など各自の疑問を投げかけ、「昨年の講座では雨や風のことが分かって、今年のＡＩ体験では避難所での様子などが聞けて伊勢湾台風のことがよく分かった。」との感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は大垣ケーブルテレビに取材頂きました。

５年生

６年生